

## 総務防災常任委員会視察

命を守る消防航空隊  
(福岡市)

視察  
報告

総務防災常任委員会の県外調査(1月22日～23日)で福岡市消防航空隊を視察させて頂きました。

福岡市には2機の「消防ヘリ」が配備されている一方で、福岡県には「防災ヘリ」がありません。福岡市の所属ですが、要請があれば、県内の他市町へも出動しています。

千葉県とも状況が似通っています。「救助」を目的とする消防ヘリと「救急」を目的とするドクターヘリの役割については、重複する点も多く、派遣要請時の対応が重要となります。上手に使い分ければ相乗効果をもたらすことは明かです。



Political information paper vol.4 発行日／平成30年3月 発行／公明党千葉県議団 田村耕作

千葉県議会議員

# 田村こうさくNEWS

2018  
春号

<http://tamura-kosaku.com> [www.facebook.com/kosaku.tamura](https://www.facebook.com/kosaku.tamura) [drkosakutamura](https://twitter.com/drkosakutamura)



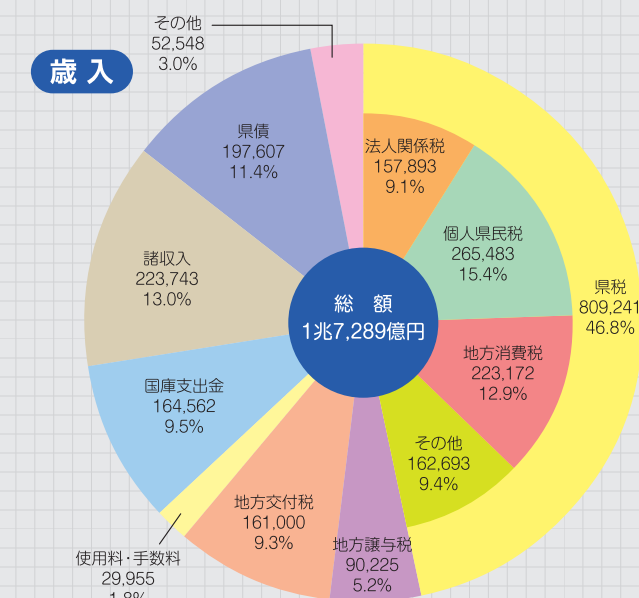
## 平成30年度 当初予算成立!

好調な県内企業業績。  
法人県民税が顕著な伸び。



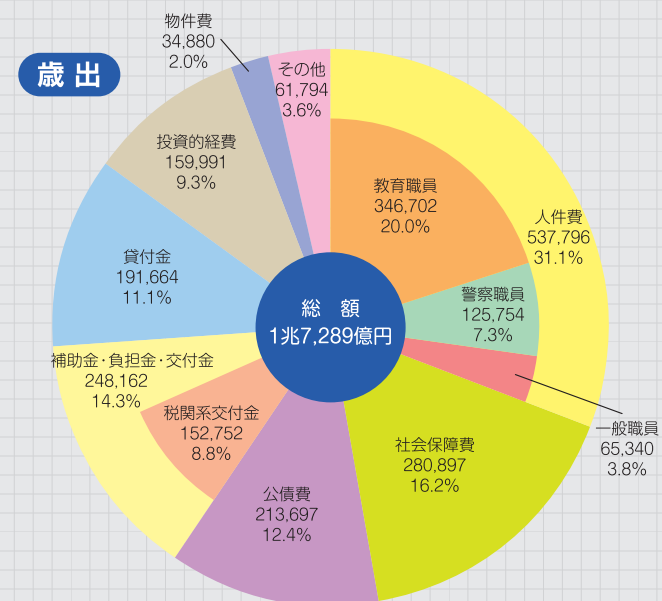
平成30年度千葉県当初予算が成立しました。一般会計約1.7兆円、特別会計約1.6兆円、公営企業会計約0.2兆円、総計約3.6兆円に及ぶ予算規模となりました。県税は、千葉市への税源移譲により減収となる一方で、法人二税が企業業績の堅調な伸びにより増収が見込まれるため、全体では316億円の増額が見込まれています。

### 一般会計当初予算の状況 (単位:百万円)



地方消費税の税率引上げによる増収分については、**全額、社会保障関係経費の財源に充てています。**

- 地方消費税のうち、税率引上げによる増収分(歳入)463億円
- 社会保障関係経費のうち、一般財源の額(歳出)2,868億円



平成30年度  
予算委員会

## 観光立県千葉に向けての取り組みを!

訪日外国人の本県来訪者増を目指して、訪日外国人の側からの視点で観光施策を講じる必要性があります。

日本の文化財は、中国、韓国の方々からすると馴染みがあるかもしれませんが、欧米の方からするとユニークに映り一定の説明を加えることによりその歴史や内容を理解するならば興味をひきやすいといわれています。

日本の文化財はスケールもインパクトも相対的に小さいことから説明が必要不可欠となります。

そこで特定目的での来訪者を対象とした「コンテンツ・ツーリズム」の推進などを提案しました。



皆様の県政に対するお声をお寄せください!

千葉県議会議員

## 田村こうさく

千葉県議会 公明党控室 〒260-0855 千葉市中央区市場1-5

FAX.043-227-9162

Email:kosakutamura@gmail.com

<http://tamura-kosaku.com>

[www.facebook.com/kosaku.tamura](https://www.facebook.com/kosaku.tamura)

[drkosakutamura](https://twitter.com/drkosakutamura)



## 外房の津波予想が大きく前進!

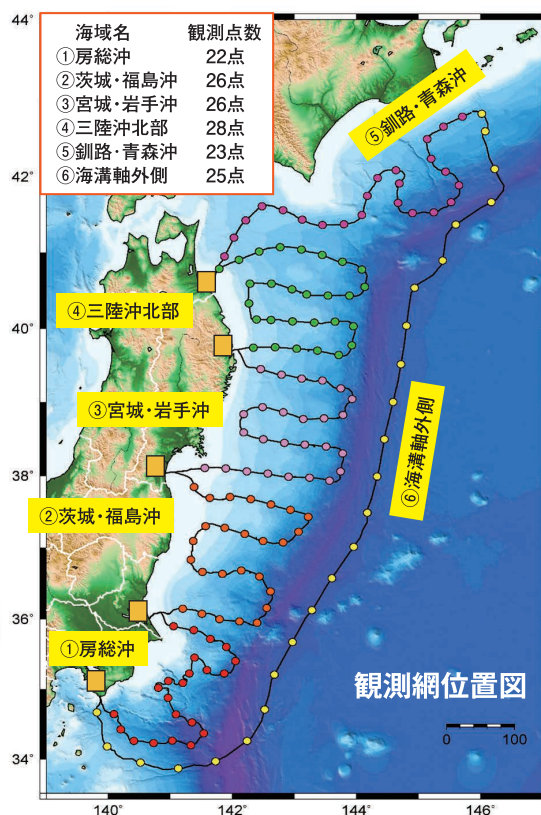
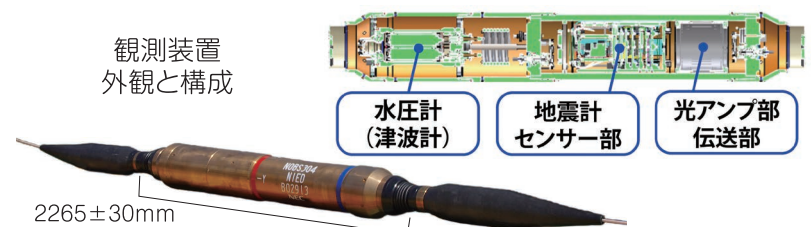
海底ケーブルを活用した津波浸水予測システムを導入。

防災科学技術研究所が開発した「日本海溝海底地震津波観測網(S-net)」を活用して、海溝型地震の発生を迅速に観測することが可能となります。外房地域の津波被害を最小限に抑えることが期待出来ます。

|        |                                       |
|--------|---------------------------------------|
| 平成30年度 | システム整備                                |
| 平成31年度 | 勝浦市、一宮町、いすみ市、鴨川市、九十九里沿岸地域<br>予測情報配信開始 |
| 平成32年度 | 九十九里沿岸地域(未配信地域)、外房地域<br>予測情報配信開始      |

※日本海溝海底地震津波観測網(S-net)

観測点150カ所を新設して総延長約5,700kmの海底ケーブルで結び、観測データを陸上までリアルタイムで伝送する、世界初の大規模な広域海底観測網の整備事業です。



## 花見川ニュース 1

### 幕張に新病院開設! ~千葉県職員寮跡地を有効活用~

花見川区幕張町1丁目(国道14号南側)にある千葉県有地(旧千葉県企業庁職員寮跡地)を売却して、新たに病院が開設されます。

いわゆる「団塊の世代」が75歳以上となる2025年に向けて目指すべき地域医療の提供体制と施策を定めた地域医療構想を定めてきました。「千葉県保健医療計画」

を一部改正し、県内9つの地域医療構想区域の特性

に応じた医療提供体制を整備してきました。本年4月からの「千葉県保健医療計画」の策定にともない新たに病院の設置が許可されることになります。これまでは5年に一度策定されていましたが、次回からは、3年に一度改定される介護保険に合わせて、6年に一度改正されます。



## 花見川ニュース 2

### さつきが丘地域などにゾーン30新設。

地域住民の要望を受けて、花見川区さつきが丘地域がゾーン30に指定されました。児童・生徒のみならず高齢者も多い同地域での交通事故の減少並びに重傷化予防に役立つことが期待されます。区内他地域においてもゾーン30の設置が検討されております。

※ゾーン30

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域を定めて最高速度を30km/hの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制やゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。



## 花見川ニュース 3

### 瑞穂橋脇に信号機設置。

瑞穂橋は花見川区瑞穂地域から幕張駅周辺への移動経路となり、朝夕の通勤通学時間帯を中心に多くの方が行き来するとともに、花見川サイクリングロードの一部ともなっていますが、瑞穂橋周辺には信号機がなく、車の通行量も多く歩行者の横断が困難との指摘がなされてきました。

地域住民、地元自治会からの要望を受けて、花見川区役所に通じる交差点に信号機が設置されました。

